

大学名

熊本大学

第59号テーマ

「ニューノーマル時代の大学」

表題

オンライン記者会見で熊本発の研究成果を県外の報道機関にも積極的にアピール！

熊本大学では、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたため、2020年度は対面による記者会見をWeb会議システムによるオンライン記者会見に切り替えて実施した。

従来、記者会見による研究成果発表を行う際は、学内の会議室等を使用し、主に熊本県内の報道機関を対象に実施していた。また、全国的に注目度が高いと思われる研究成果については、文部科学省内の会見室を使用して会見を行っていたが、教職員の出張が必要なため実施のハードルが高く、年に数回しか実施できない状況であった。

オンライン記者会見により、Web会議システムにアクセス可能なパソコンさえあれば場所を選ぶことなく会見を行うことが可能になり、参加する記者も会場に足を運ぶ必要がなくなった。そのため、例えば、「長崎県西海市の西彼杵変成岩からマイクロダイヤモンドを発見」、「細川忠興による駿府城普請にかかる掟書を発見」といった他県の報道機関からの注目度が高いと思われる研究成果の発表の際には、他県の報道機関に対してもプレスリリースを行い、オンライン記者会見に参加してもらうことで県外メディアへの記事掲載につながった。また、説明動画の配信やオンラインストレージサービスでの配付資料の共有を事前に行い、報道機関が会見に参加しやすくするための工夫も行っている。Web会議システムでの質疑応答もスムーズにできており、新型コロナウイルスの感染拡大収束後も、オンライン記者会見を活用することで、全国に向けた本学の研究成果の積極的な発信を行っていく予定である。



報道機関向けに公開した研究成果の概要説明動画の様子



Web会議システムを使用した記者と本学教員の質疑応答の様子